

令和6年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行計画書(過疎・中山間地域活性化枠・集落等活性化事業)

(単位:千円)

| 番号 | 新規・継続 | 共通採択方針 | | 事業名 | 事業主体 | 事業区分 (ハード/ソフト) | 事業費 | 補助金 決定額 | 事業概要 | 実施時期 | 実施場所 (市町村及び場所) | 備考 |
|-----------|-------|--------|------|---|--------------------|-------------------|--------|------------|--|----------------|-------------------|----|
| | | 重点 | | | | | | | | | | |
| | | 人口減少対策 | 過疎中 | | | | | | | | | |
| (県南地方振興局) | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 新規 | | 地産地消 | 野出島の里魅力増進事業 | 野出島地域活性化プロジェクト | ソフト | 1,595 | 1,243 | 地域に増えている遊休農地を活用した各種事業を実施することにより、地域の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。 ○遊休農地を活用した菜種、そば、小麦を栽培し、環境保全と特産品づくりを行う。 ○栽培した植物を活かした「菜の花祭り」「ホタル祭り」等のイベントを行う。 ○地域で収穫された食材を活かし、地域の世代交流や首都圏の体験者を受け入れる体験を行う。 | R6.4.1～R7.1.31 | 白河市 (旧東村) | |
| 2 | 継続2 | ○ | | 東館駅前活性化及び交流人口増加推進事業 | 特定非営利活動法人まち・ひと・みらい | ソフト | 2,342 | 1,872 | 東館駅前シェアスペースを中心に、特に若い世代を呼び込むイベントや居場所づくりを企画し、コロナ禍で失われてきた若い世代や上の世代の交流をさまざまな角度から活性化させる。 ○やまつき寺子屋プロジェクト ・町民を対象とした様々な講座等の月1回の定期開催。 ○子育て世代のカフェタイム ・子育て世代の同士のコミュニティ場を提供 ○子ども若者の居場所タイム ・放課後の子ども・若者のコミュニティ場を提供 | R6.4.1～R7.3.31 | 矢祭町 | |
| 3 | 継続2 | | 地産地消 | もっちょり(持ち寄り)ば～ばのパラダイスandマルシェ～地域・世代を超えた交流の場づくり～ | 農村女性高齢者生きがいづくり支援の会 | ソフト | 317 | 226 | 過疎と高齢化により地域間のつながりが希薄になり、高齢者達の行動範囲も限られている。子供から高齢者までの地域住民世代を超えて楽しく集える場所をつくることによって、地域住民(特に高齢者の)生きがいづくりを行う。 ○農産物・加工品等の販売 ・月1回近隣住民の持ち寄りでマルシェを開催 ○田舎暮らし体験 ・里山資源や強滝等の観光資源を生かした、農作業体験 | R6.4.1～R7.1.31 | 鮫川村 | |
| 4 | 継続2 | | 人づくり | 水郡線全線開通90周年、町が熱くなる! | 一般社団法人ニワトコ | ソフト | 5,156 | 4,124 | 人口減少・過疎化が進む東白川郡。「水郡線全線開通90周年」の契機に、JR東日本とのコラボで、水郡線沿線に活気を生み出すイベントを企画する。その他、地元小中学生へ「古民家雑学講座」を実施し、地元愛醸成と人材育成に取り組む。 ○水郡線全線開通90周年イベントの開催 ・はこビュン活用による「駅弁」の食イベント ○地元小中校生の人材育成「古民家雑学講座」 | R6.4.1～R7.2.28 | 棚倉町 | |
| 5 | 継続2 | | | ふくしま和紙カフェ ～ワークショップがつなぐ文化と食～ | 旅の書会 | ソフト | 510 | 350 | 鮫川村をはじめ、福島県には複数の和紙の里が存在するが、各地域にはそれぞれに食や祭り、地域に根付いた文化と食があり、それらと融合させたワークショップを実施することで、より広域的に地域の魅力発信が可能となるため、一年を通じて、会津・中通り・浜通りでワークショップを展開し、ふくしまの和紙をテーマにしたカフェを創り上げる。 ○文化×食をテーマにしたワークショップの開催 ○ワークショップの作品、文化紹介を兼ねた展示会開催 ○地域資源を活かしたインバウンド向けコンテンツの立案と実施 | R6.4.1～R7.3.1 | 鮫川村 | |
| 6 | 継続3 | | 地産地消 | 矢祭町の「和ハーブ」の認知活動とブランド化による地域活性化活動 | 矢祭和ハーブ部会 | ソフト | 642 | 513 | 高齢化する農山村における新たな雇用の創出や地域資源を活用した産業振興を図るため、矢祭町に多く自生している「和ハーブ」に焦点を当て、認知活動やブランド化を実施する。 ○矢祭和ハーブティのPR販売 ○Facebookによる啓蒙活動 ○和ハーブティに続く加工品規格の検討 | R6.4.1～R7.3.31 | 矢祭町 | |
| 累計 | | | | (県南地方振興局) | 6件 | | 10,562 | 8,328 | | | | |